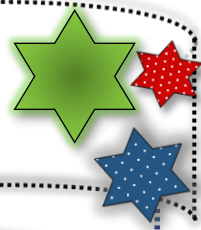




ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ



このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

このほかの本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



[300-2]

学校では教えてくれない 自分を休ませる方法

2021年 KADOKAWA

井上祐紀 (著)

子どものころ専門医が「休むの意味」を考えることから、具体的な「お悩み解決」までを分かりやすく解説。小学校高学年以上なら自分で読める。巻末の番外編「大人たちへ伝えたい」は、全世代必読!! (ルナ)



[900-6]

子どもにウケるお話し大作戦 絵本であそぼ!

2005年 小学館

パパ'S絵本プロジェクト・安藤哲也、
金柿秀幸、田中尚人(著)

現役育児パパが始めた「出張お話し会」で子どもにウケた本を紹介。お話し会は「熱いストリート・ライブ」。読み終わった後の「幸せな時間」が記憶に残る。パパが選ぶ、それぞれ違った切り口の絵本を、どうぞ。(ぽっと)



[1000-3]

92歳、毎日楽しく老いてます

2024年 電波社

樋口恵子 (著)

92歳の著者が語る、元気に楽しく老いるための心構え。老いの足音が聞こえてきても心に「ふた」をせず、新たな目標へのスタートラインに立ってみよう。現実を受け入れながら、今日も笑顔で。(みっと)



[1100-1]

ぼくは性別モラトリアム

2020年 幻冬舎

からたちはじめ (著)

身体は女性の、「手術はしていないけれど自分の性別に違和感を持つ著者」が悩んできたことや、体験したことを漫画で伝える。もやもやしている人はもちろん、「そんなことあるの?」と思う人も、ぜひ一読を。(ルナ)



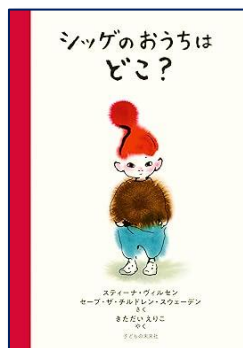
[1200-3]

うそコンシェルジュ

2024年 新潮社

津村記久子(著)

日常の中のちょっと気にかかっていることを、いつもと違うやり方でやってみる。やり過ぎて今を生きていく感じに、ふしぎと前向きな気持ちになれる「11話の短編集」。私のおすすめは「レスピロ」。(ぽっと)



[2000]

シググのおうちはどこ?

2024年 子どもの未来社

ステイーナ・ヴィルセン、セーブ・ザ・チルドレン・スウェーデン(作)、きたたいえりこ(訳)

幼いシググはいつもひとりぼっち。ママは疲れて眠っている。ある日、知らないおとながやってきて、ふたりは別れて暮らすことに……。里親家庭で生活するシググ。新しい家族の愛に包まれて、もうすぐ7歳に。(みっと)

編集後記

オフタイムでご紹介した『くもをさがす』には、日本を離れてバンクーバーで暮らすうちに、それまで自分を縛っていたものから自由になっていった西さんの姿がありました。他人からどう見えるかではなく、自分がどうありたいか。また、権利を奪われて弱い立場にある人々に、日ごろから心を寄せていることも伝わってきました。カナダの豊かな自然と多様な人々の中で綴られた本書を、ぜひ一読ください。(こなつ)

